



AIエージェントって？

◆ユーザーに代わり仕事／自律的に判断し提案

Q－「AIエージェント」について詳しく教えて。

A－「エージェント」は「代理人」と訳され、例えば「旅行エージェント」は旅行代理店を指します。旅行代理店にお願いすると、あなたに代わって、旅行プランの作成や航空券・宿泊・ツアーの予約手配など、あらゆることをしてくれますよね。AIエージェントは、ユーザーの代わりに、適切にその意図をくみ取り、「自ら考え、判断して」目標を達成するために自律的に行動します。この「自律的に」という点がポイントです。

	役割	特徴・機能	自律性	
AIの種類一覧	AIエージェント	人が毎回、細かく指示しなくても、自分で考えて動く	経験や設定に応じて振る舞いを調整する。独立して意思決定する	一度の指示で試行錯誤しながら目標に進む
	AIアシスタント (ChatGPT, Copilot, Geminiなど)	ユーザーの作業をサポートする	プロンプトに応答し、情報を提供。最終決定はユーザーが行う	限定的。ユーザーが支持を出し続ける必要がある
	チャットボット	単純なタスクや会話を自動化	学習機能は限定的で、基本的なやり取りが中心	事前に定義されたルールに従う

Q－チャットボットやChatGPTなどの生成AIと何が違うの。

A－チャットボットは、一つの問いかけに対して一つの答えを出してくれますが、それ以上のことは答えられません。ChatGPTは、さまざまな質問に答えてくれますが、こちらが上手に適切な指示や質問（プロンプト）を出さないと、有効に機能しないことがあります。ChatGPTやCopilotでも、対話を重ねることでAIエージェントに近い振る舞いをしてくれますが、自律的に提案を進めていくということはありません。

Q－AIエージェントには、どういう使われ方があるのかな。

A－例えば、「来週の東京出張の準備をお願い！」といった大雑把な指示でも、最適な新幹線チケットや宿泊ホテルの候補先、さらには訪問予定先とのアポイント調整案まで出してくれる、といったイメージです。将来的には、さまざまなシステムと連携しながら、もっと踏み込んだ仕事もできるようになるでしょう。まさに「優秀な相棒・ベテラン秘書」といえます。また、「富山県の地域振興についてレポートを作成して！」という漠然とした指示でも、自律的に構成・章立てを考え、情報を洗い出し、仮説を立て、文章を作成してくれます。

Q－富山県内では何か動きがあるの。

A－北陸電力グループでは生成AIを活用した社内の「ヘルプデスク」に、インテックの親会社であるTIS（東京）は生成AIの業務活用を支援するサービスに、AIエージェント機能を使っています。この他にも、AIエージェント機能を組み込んだサービスの提供を検討・開始する動きが出てきています。近い将来、AIエージェントにおおまかに指示をして、出てきたリストから最適なものをピックアップして決裁する、といった仕事の流れが当たり前になるかもしれないですね。

（この連載は北陸経済研究所の米屋信弘が担当しました。）